

再評価結果（平成25年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名：三浦 真紀

事業名	一般国道58号 <small>おんみなみ</small> 恩納南バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	内閣府 沖縄総合事務局																								
起終点	自： <small>おきなわ</small> 沖縄県 <small>おんな</small> 恩納村 <small>あざみなみおんな</small> 字南恩納 至： <small>おきなわ</small> 沖縄県 <small>おんな</small> 恩納村 <small>あざなかどまり</small> 字仲泊	延長	6.5km																										
事業概要	<p>国道58号は、沖縄本島西側を南北に走る大動脈で、本島中南部の人口集中地域と北部の観光・リゾート地域及び農山村地域を結ぶ主要幹線道路である。恩納南バイパスは、美しい海岸線が続き、リゾートホテル、ビーチなどが集中している本県有数のリゾート地である恩納村内の観光シーズンにおける交通渋滞緩和、国道58号の交通安全確保及び沿道環境の改善、観光産業の支援に大きく寄与する道路である。</p>																												
H2年度事業化	都市計画決定不要	H5年度用地着手	H7年度工事着手																										
全体事業費	360億円	事業進捗率	70%	供用済延長	4.5km（暫定）																								
計画交通量	30,100台/日																												
費用対効果分析結果	<table border="1"> <tr> <td>B/C</td> <td>4.5</td> </tr> <tr> <td>(事業全体)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(残事業)</td> <td>7.8</td> </tr> </table>	B/C	4.5	(事業全体)		(残事業)	7.8	<table border="1"> <tr> <td>総費用</td> <td>109/425億円</td> </tr> <tr> <td>(残事業)/ (事業全体)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>83/388億円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>26/ 37億円</td> </tr> </table>	総費用	109/425億円	(残事業)/ (事業全体)		事業費	83/388億円	維持管理費	26/ 37億円	<table border="1"> <tr> <td>総便益</td> <td>843/1,893億円</td> </tr> <tr> <td>(残事業)/ (事業全体)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>走行時間短縮便益</td> <td>775/1,750億円</td> </tr> <tr> <td>走行経費減少便益</td> <td>46/ 105億円</td> </tr> <tr> <td>交通事故減少便益</td> <td>22/ 38億円</td> </tr> </table>	総便益	843/1,893億円	(残事業)/ (事業全体)		走行時間短縮便益	775/1,750億円	走行経費減少便益	46/ 105億円	交通事故減少便益	22/ 38億円	基準年	平成24年
B/C	4.5																												
(事業全体)																													
(残事業)	7.8																												
総費用	109/425億円																												
(残事業)/ (事業全体)																													
事業費	83/388億円																												
維持管理費	26/ 37億円																												
総便益	843/1,893億円																												
(残事業)/ (事業全体)																													
走行時間短縮便益	775/1,750億円																												
走行経費減少便益	46/ 105億円																												
交通事故減少便益	22/ 38億円																												
感度分析の結果	<table border="1"> <tr> <td>(事業全体) 交通量</td> <td>: B/C=4.0~4.9 (交通量 ±10%)</td> <td>(残事業) 交通量</td> <td>: B/C=7.0~8.5 (交通量 ±10%)</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>: B/C=4.4~4.5 (事業費 ±10%)</td> <td>事業費</td> <td>: B/C=7.2~8.4 (事業費 ±10%)</td> </tr> <tr> <td>事業期間</td> <td>: B/C=4.1~4.8 (事業期間±20%)</td> <td>事業期間</td> <td>: B/C=7.6~8.0 (事業期間±20%)</td> </tr> </table>					(事業全体) 交通量	: B/C=4.0~4.9 (交通量 ±10%)	(残事業) 交通量	: B/C=7.0~8.5 (交通量 ±10%)	事業費	: B/C=4.4~4.5 (事業費 ±10%)	事業費	: B/C=7.2~8.4 (事業費 ±10%)	事業期間	: B/C=4.1~4.8 (事業期間±20%)	事業期間	: B/C=7.6~8.0 (事業期間±20%)												
(事業全体) 交通量	: B/C=4.0~4.9 (交通量 ±10%)	(残事業) 交通量	: B/C=7.0~8.5 (交通量 ±10%)																										
事業費	: B/C=4.4~4.5 (事業費 ±10%)	事業費	: B/C=7.2~8.4 (事業費 ±10%)																										
事業期間	: B/C=4.1~4.8 (事業期間±20%)	事業期間	: B/C=7.6~8.0 (事業期間±20%)																										
事業の効果等	<p>①円滑なモビリティの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現道（南恩納～仲泊間）の年間渋滞損失時間の削減（約9割削減） （整備なし）：356万人・時間/年→将来（整備あり）：7万人・時間/年</li> </ul> <p>②個性ある地域の形成（観光産業の支援）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>沖縄県へ来訪する入域観光客数（年間553万人）、恩納村内への宿泊者数（年間193万人）</li> <li>レンタカー交通量の増加等により、観光シーズンの交通量が通常期に比べて約2割増加【約134億円※】</li> <li>恩納村内のリゾートホテルや各種観光施設間の所要時間が短縮（琉球村～万座毛まで所要時間が約10分短縮（整備前26分→完成4車供用時16分））</li> </ul> <p>③安全で安心できる暮らしの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現道（恩納南～仲泊間）の交通年間死傷事故件数の削減（約7割削減） （整備なし）：38件/年→将来（整備あり）：9件/年</li> <li>三次医療施設までのアクセス時間が短縮（恩納村（恩納村役場）～県立中部病院（三次医療施設）まで所要時間が約10分短縮（整備前45分→完成4車供用時35分））</li> <li>地球環境の保全（CO2排出量の削減：H42時：17.3千t-CO2/年）【約6.0億円※】</li> <li>地球環境の保全（NO2排出量の削減：H42時：37.5t-NO2/年）</li> <li>地球環境の保全（SPM排出量の削減：H42時：2.5t-SPM/年）</li> </ul> <p>※は、供用後50年間の便益額として試算した値（参考値）</p>																												
関係する地方公共団体等の意見	<p>県知事の意見：</p> <p>当該事業は、ハシゴ道路ネットワークを形成する主要な幹線道路であり、本県最大のリゾート地である恩納村の主要な観光拠点へのアクセス向上を図る等本県の観光振興に大きく寄与する事業であると認識している。</p> <p>このため、同事業の対応方針（原案）事業継続に同意するものである。</p>																												

事業評価監視委員会の意見

対応方針（原案）に対して審議を行った結果、「事業継続」で承認された。

前回評価時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- ・年々交通量が増加し、特にレンタカー交通の増加が顕著な夏季観光シーズンをはじめとして、近年、激しい渋滞が発生している。  
⇒交通渋滞の緩和
- ・国道における恩納村内の交通事故死者数は県内2位であり、国道58号沿道に民家が密集している中、大型車交通も多く、交通安全上や住民の利便性、沿道環境の悪化等の課題がますます深刻になっている。  
⇒交通安全の確保・沿道環境の改善
- ・恩納村は県内屈指のリゾート地であり、来訪する観光客の年々の増加に伴い、ホテルや各種観光施設の整備も進んでおり、さらなる観光支援が必要である。  
⇒観光産業の支援

事業の進捗状況、残事業の内容等

全体事業費での進捗率は約70%、用地買収の進捗率は約97%である。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

平成21年11月1日に一部区間暫定2車線で開通し、部分暫定開通の一定の効果も発揮されている。今後は早期事業効果発現を図るため、全線2車線暫定供用に向けて、鋭意事業の進捗を図る。

施設の構造や工法の変更等

- ・橋梁支承形式の変更【約19百万円減】
- ・歩道幅員の見直し等により道路幅員を縮小【約19百万円減】
- ・発生残土の活用計画変更【約200百万円減】

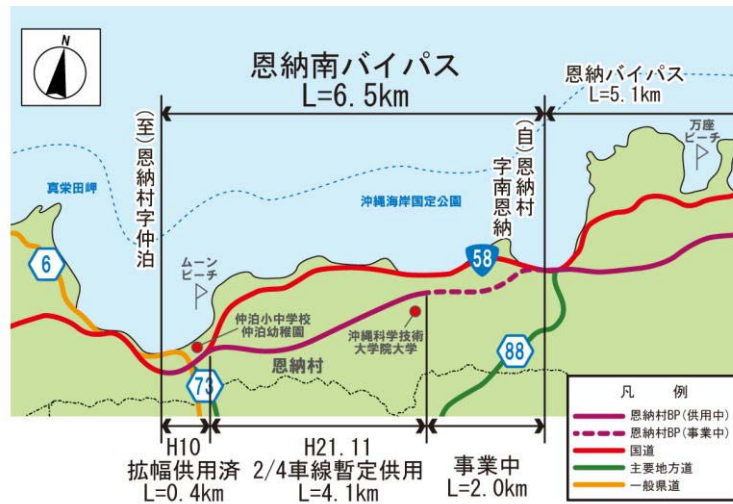
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の事業の効果及び進捗状況、関係する地方公共団体等の意見、事業評価監視委員会による審議を踏まえると、事業の必要性、重要性は当初と変わらず、事業を継続する必要があるため。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。  
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。